



発行日：令和5年8月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第16回市民部会WGを開催しました！

第16回市民部会WGでは、公開講座・バスツアー・流域連携イベントについて、計画の内容やスケジュール等話し合いました。

日時：2023年7月11日（火）13:30～15:00

会議場所：豊田市崇化館交流館 大会議室

参加者：14名（内オンライン参加4名） *事務局含む



◆主な会議内容

1. 公開講座について



今年度を実施する公開講座について、前回の市民部会WG及びミライ会議を踏まえ、講演者の候補、講演方法、開催までのスケジュール等について話し合いました。話し合いから決定した主な事項を以下に記します。

【公開講座に関する主な決定事項】

- ・流域における山・川・海のつながりを講義できる富山和子氏に講演していただくことで計画を進める。富山氏に講演いただけるかどうかは8月末を目途に決定する。講演はリモート配信を予定する。
- ・富山氏の講演が難しい場合は、神田浩史氏に講演をお願いする。
- ・次回の市民部会にて、富山和子氏の理論に関する勉強会及び公開講座の具体的な内容検討を行う。
- ・公開講座の日程が具体化したらチラシの作成と配布を行う。

2. バスツアーについて



バスツアーは、昨年度計画した工程をベースに、以下の方針で計画策定・実施していくことになりました。7月中旬に案内文を確定し、8月中旬までに参加者へ案内する予定です。

- ・実施日：2023年9月13日（水）・9月14日（木）
- ・対象・参加規模（予定）：矢作川流域圏懇談会メンバー及び次世代を担う大学生で最大50人を想定。人数が予定を超過する場合は抽選とする。
- ・移動：マイクロバス2台（予定）
- ・見学場所：昨年度計画の箇所をベースに実施。

9/13は山及び川に関する訪問先、9/14は川及び海に関する訪問先を予定。

3. 流域連携イベントについて



今年度を実施する流域連携イベントのスケジュール、イベントでの流域圏懇談会のPR等について話し合いました。9～12月の流域連携イベントを以下に示しました。

- ・9月10日：矢作川感謝祭（豊田市）
- ・9月30日～10月1日：いい川づくりWS（仙台市）
- ・10月14日：三河湾大感謝祭（田原市）
- ・12月予定：中部のいい川づくりWS（豊田市または岡崎市）



◆話し合いでの主な意見

(・意見 ▶回答)

●公開講座について

- ・6/27のミライ会議にて、流域治水における俯瞰的な視野を持っている方に講演していただき、その後農業や防災など個別のテーマで話題提供していただける方にお話ししていただくという案が出ている。講演者の候補には、流域というテーマで富山和子氏と神田浩史氏、ネオニコフリー関係で小祝政明氏の名前があがっている。(事務局)
- ・ミライ会議で流域全体を考えられる人は富山和子氏しかいないのではという話しが出たことから、講談社の出版部に連絡したところ、「富山先生が出かけていって講演することは難しいと思う。手紙は届けられる」との回答があった。そこで、富山和子氏宛ての手紙と流域圏懇談会の資料(10年誌、学童保育木質化・都市の木質化の事例集)を講談社に送った。何らかの形で富山氏あるいは講談社より連絡があると思う。(沖)
 - ▶最初は無理かなと思ったが、直接確認してからでないとおきらめがつかない。これが最後の富山和子氏の講演となるかもしれないし、実現させたい。(近藤)
 - ▶講談社に回答のリミットを聞かれたので2ヶ月とお答えしたため、9月ごろの回答となる。(沖)
- ・講談社より、富山氏の講演はリモートでスタジオ設置という形なら可能と言われている。東京におられるので、我々がセッティングに行くことになる。(沖)
 - ▶これまでの公開講座の実績から、富山氏のリモートによる講演は可能であり、やることにお互い大きな意味がある。スタジオは富山氏のご自宅でもよいし、別に設定してもよいと考える。(松沢)
 - ▶どこかのスタジオに送迎をするか、自宅でセットするかは確認して進めればよい。(近藤)
- ・富山氏に講演していただき、神田氏には聞き手として出ていただくのがよいと思う。富山氏の講演が難しい場合は、神田氏に講演していただくなど。10~12月を目標に、富山氏・神田氏への交渉を続けていくとよい。(近藤)
 - ▶富山氏の状況がはっきりしたら、神田氏に正式に公開講座への協力をお願いする。(光岡)
 - ▶神田氏には状況をお話ししておく。とりあえずはこの状態で1~2ヶ月待つということによりよいと思う。(近藤)
 - ▶富山氏に手紙を出したが、2ヶ月放置されるようであれば、講演は難しいと判断したい。(沖)
 - ▶富山氏にお願いする方向で、8月末を区切りとして計画を具体化していく。富山氏が難しい場合は神田氏に正式にお願いする。あるいは、富山氏と神田氏の両方に出ていただくという方向で進めていく。(光岡)
- ・これまでの公開講座の経験から、チラシは公開講座の3ヵ月前あたりで確定させたい。(事務局)
 - ▶参加者への呼びかけを考えると、8月いっぱいのところ結論が出せるように進めていく。(光岡)
 - ▶11月は中間報告会があるので、その時にみなさんに情報提供していくのもよい。(事務局)
- ・公開講座の準備を進めつつ、富山和子氏の勉強会をやりたい。併せて、流域での農業・林業の話し勉強会を進めていくなど。松沢氏にプロデュースしてほしい。(近藤)
 - ▶富山氏の著書から総合的な説明はできると思う。その中で協議できる資料作成やプレゼンは可能である。(松沢)
 - ▶富山氏の講演内容は、森林、川、農地、海、都市のつながりを軸とした流域連携の話しになると思う。そこから、有機農業などの各論に持っていくためのストーリーを組むことが重要と思う。(松沢)
 - ▶富山氏の理論は流域圏そのもので、流域圏懇談会の事例集などの視点と共通していると思う。富山氏の「生きている」シリーズは、川から海まで14年かけて完結されている。(沖)
 - ▶次回の市民部会で、公開講座の内容検討と富山和子氏の勉強会を設定する。(光岡)

●バスツアーについて

- ・バスツアーへの参加者は8/20あたりには決定したい。大学生の参加は、愛知工業大学や人間環境大学などのつながりのある大学を対象に先生からお伝えいただくという形を想定している。(事務局)

●流域連携イベントについて

- ・9月はイベントが集中する。矢作川流域圏懇談会をどのような形で紹介していくかについて協議したい。三河湾大感謝祭では流域圏懇談会としてブースを設置するので、展示内容の案などあれば提案をお願いする。(事務局)
 - ▶流域に関するアンケートはよい取組と思う。6月の豪雨への意識など把握したい。(事務局)
- ・学生たちと一緒に未来創造プログラムをやっている関係で、9/1~9/2に根羽村林業合宿をやる予定。続いて、9/7~9/8は同じ学生に声を掛けて、高山で林道を学ぶための合宿をやる予定。さらに、9/30~10/1は仙台で「いい川づくりWS」があり、学生も何人か連れていく予定。(近藤)
 - ▶9/1~9/2根羽村の林業現場にて、木材の利用等について林業関係者に話しを聞くイベントを企画している。愛知県の大学の方々、特に建築を学んでいる方々に材料となる木材がどこから来て、どういうふうになられているのかを見てもらいたい。(佐竹)
 - ▶事例集の学童保育、都市の木質化をまとめたことにより、こういう形で流域圏懇談会と学生がつながっていることを感じてほしい。(近藤)

今後の予定

■次回WG日時：令和5年9月8日(金) 15:00~17:00 豊田市崇化館交流館

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 蔭山、建設専門官 宮本、技官 松田
TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省豊橋河川事務所流域治水課(cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp)までお送りください。